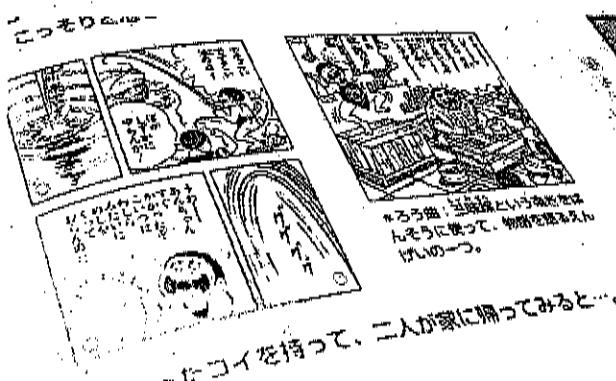


「はだしのゲン」教材差し替え

広島市立の小中高校で平和教育と使われている教材が2023年度から改訂され、漫画「はだしのゲン」が別の教材に差し替えることになった。市教育委員会は見直しの



広島市教育委員会発行の教材「ひらしま平和ノート」。小学3年生用のページではゲンたちが近所の庭のコイを釣ったり、浪曲を歌ってお金を稼いだりするシーンが紹介されている

広島市教委、原爆で家族失った女性に

理由を「被爆の実相に迫りにくいと判断した」としている。
改訂されるのは、市教委が市立小中高校で取り組んできた「平和教育プログラム」の教材。2013年度からは統一の教材「ひらしま平和ノート」を発行した。各学年で年間3時間を授業に割いてきた。

19年度から、改訂の必要性

を検証するため、教員や大学教授らを交えて議論を重ねてきた。その結果、被爆の実相を理解し、継承することができる内容か▽発達段階に即した内容か――などの四つの観点で見直しを始めた。23年度からの新しい教材では、小1

高3の12学年が年に充てる全36回分のうち26回分の内容が改訂される」となった。

新教材では、16歳の時に原爆で両親と妹3人を失った女性の生涯を、娘が語った内容に差し替わった。

高1では「はだしのゲン」の作者の中沢啓治さんの体験談と漫画の概要紹介のみとなつた。

市教委は「子供たちが、自分にできる」とを考えてしまいどう願いで新教材を作成した。「はだしのゲン」の意義を否定するものではない」としている。(黒田謙輔)

で、小3と高1で「いつかの